

聴覚障害部門 研究目標
伝える力を育成するための言語活動の工夫

学年 氏名	
指導者名	

①指導項目（文章への指導 16 項目から選んだものを書きます）

--

②評価指標（付けたい力を書きます。※段階的に難易度を上げる方法、段階的に手掛かりや支援を少なくしていく方法があります。）

レベル5 (付けたい力)	
レベル4	
レベル3	
レベル2	
レベル1 (今の力)	

評価基準（レベルアップの基準を書きます。） 例：20 問中 8 割以上正答

評価基準	
------	--

※評価指標と評価基準が一つになっている場合は評価指標のみで良いです。

例

レベル2	清音単語を 1 文字 0.8 秒で読める。
レベル1 (今の力)	清音単語が 1 文字 1 秒で読める。

③主要参考文献【筆者名（発行等年） 文献等名 出版社等名等】

例 田中耕司 斉藤佐和（2007）聴覚障害児の書記表現力の指導に関する調査。
 特殊教育学研究 45(3)

④手立て（具体的な手立て（教材）を書きます）

例 アプリ：○○○使用

⑤学期評価（結果）

結果	理由

例

結果	理由
レベル2	清音単語を 1 文字 0.8 秒で読めるようになった。

⑥総合評価（結果）

進ずる教育課程：読書力診断検査による

重複障害教育課程：PVT-R 絵画語い発達検査, 失語症構文検査, 質問-応答関係検査,
 LCスケール, LC SA

在校生：昨年度との比較

新入生：4 月と 12 月との比較